



高規格道路 ～ミッシングリンクの解消～

●3つのミッシングリンクの早期解消に向けて
本県における高速道路ネットワークの3つのミッシングリンク(「四国8の字ネットワーク」、「今治小松自動車道」、「大洲・八幡浜自動車道」の未整備区間)を早期に解消し、国土強靱化と地域経済の活性化、広域交流・連携の基盤となる道路ネットワークを形成するため、高規格道路の整備促進に努めています。

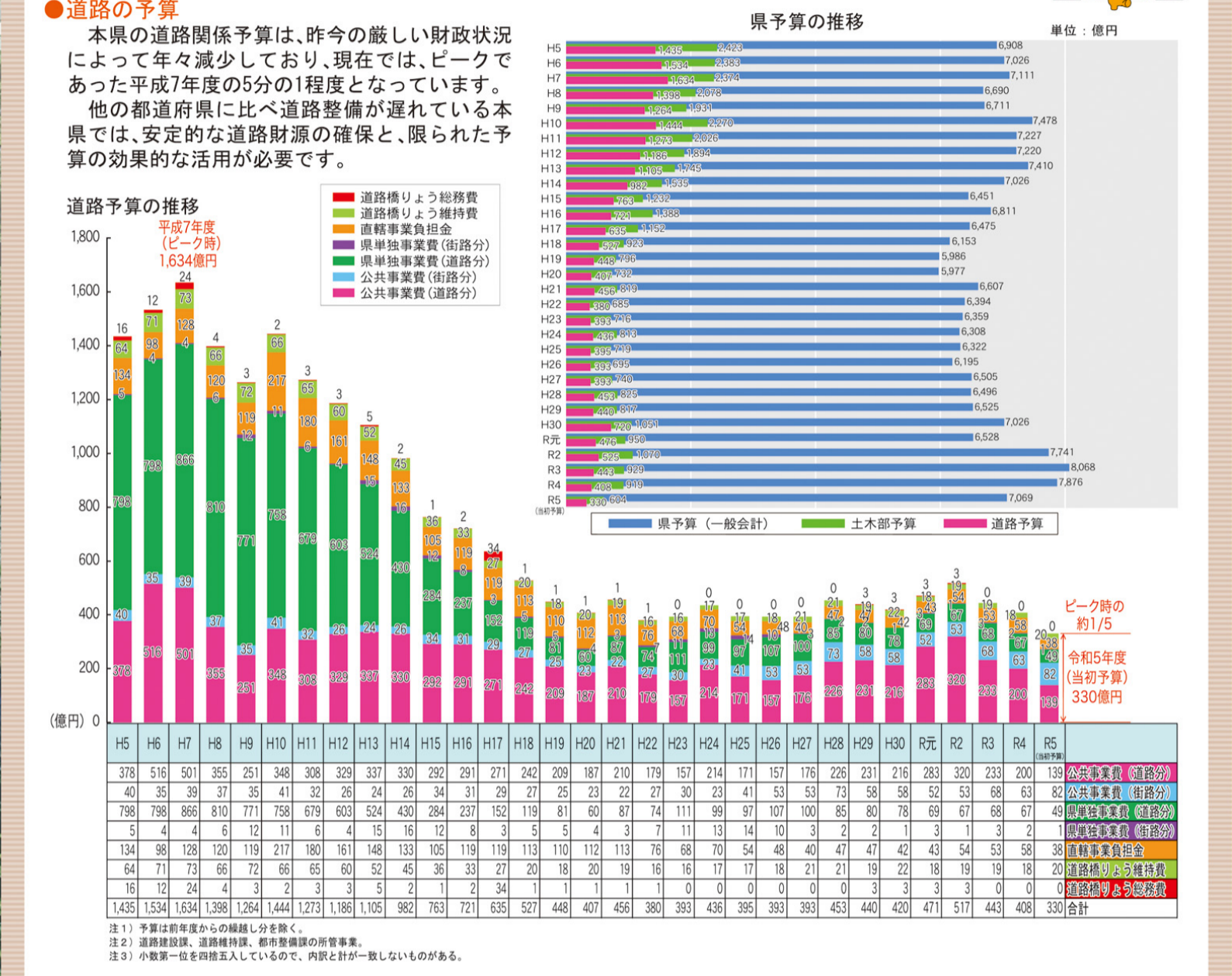


1. 四国8の字ネットワーク
平成30年7月の西日本豪雨災害の際に、高速道路は被災地の救援や緊急物資の輸送など、「命の道」として重要な役割を果たしました。
また、南海トラフ地震発生時に、津波等による深刻な被害が想定されている宇和島以南は、鉄道も無く、海岸沿いの唯一の幹線道路である国道56号が津波浸水により寸断される恐れがあるため、災害に強い道路ネットワークの形成が急務となっています。
そのため、四国8の字ネットワークにおけるミッシングリンクの解消に向け、津島道路や宿内海道路(街荘〜内海、一本松〜宿内新港)の整備促進や、未着手区間である(街荘〜一本松)間の早期事業化に取り組んでいます。
2. 今治小松自動車道
中国横断自動車道「中国やまなみ街道(尾道〜松江)」の全線開通により、今治から瀬戸内しまなみ海道(西瀬戸自動車道)を利用し、日本海まで短時間で往復できるようになりました。
しかし、「四国8の字ネットワーク」との連結区間である今治小松自動車道(今治道路)ができておらず、ネットワークを活かすことができないため、本県と人々やモノの動きの多量性・定時性・確実性の向上を目指し、整備促進に努めています。

2 愛媛の概要

1 地形と自然
県土は、四国の脊梁山脈に沿って東西約160kmと細長い地形で構成されており、総面積は5,676km²であり、全国26位の広さを有し、県土の約70%が林野となっています。形状は東予地方が長さ約60km、幅15km、中予と南予が長さ約90km、長さ120km、幅約40kmの台形を組み合わせた形状で、全土が石鎚山(標高1,982m)をはじめ四国カリスト等の険しい山地地形となっています。
また、瀬戸内海や宇和島には大小200余りの島々が点在し、有数の離島県となっています。
2 人口・文化
本県の人口は1,301千人であり、その分布は、東予:447千人(34%)、中予:629千人(48%)、南予:224千人(17%)となっています。(R5.2.1愛媛県推計人口)
令和5年4月1日現在は、11市9町の20市町で構成されており、主に、東予は工業、中予はサービス業、南予は農林漁業が盛んな土地となっています。
3 地質
本県の地質は、県土の長軸方向をほぼ平行に縦走する中央構造線・御前崎構造線・佛像構造線により4地区に区分され、5つの地質帯で構成されています。(鶴家帯、和泉階帯、三波川帯、後父帯、四万十帯)これらは、いずれも風化劇進性の高い脆弱な地質であり、特に本県の大部分を占める三波川帯は、変成、圧砕の影響を受けて複雑な地質構造となり、地滑りや崩壊の多発地帯となっています。このため台風や豪雨等による災害を受けやすくなっています。

3 道路の予算

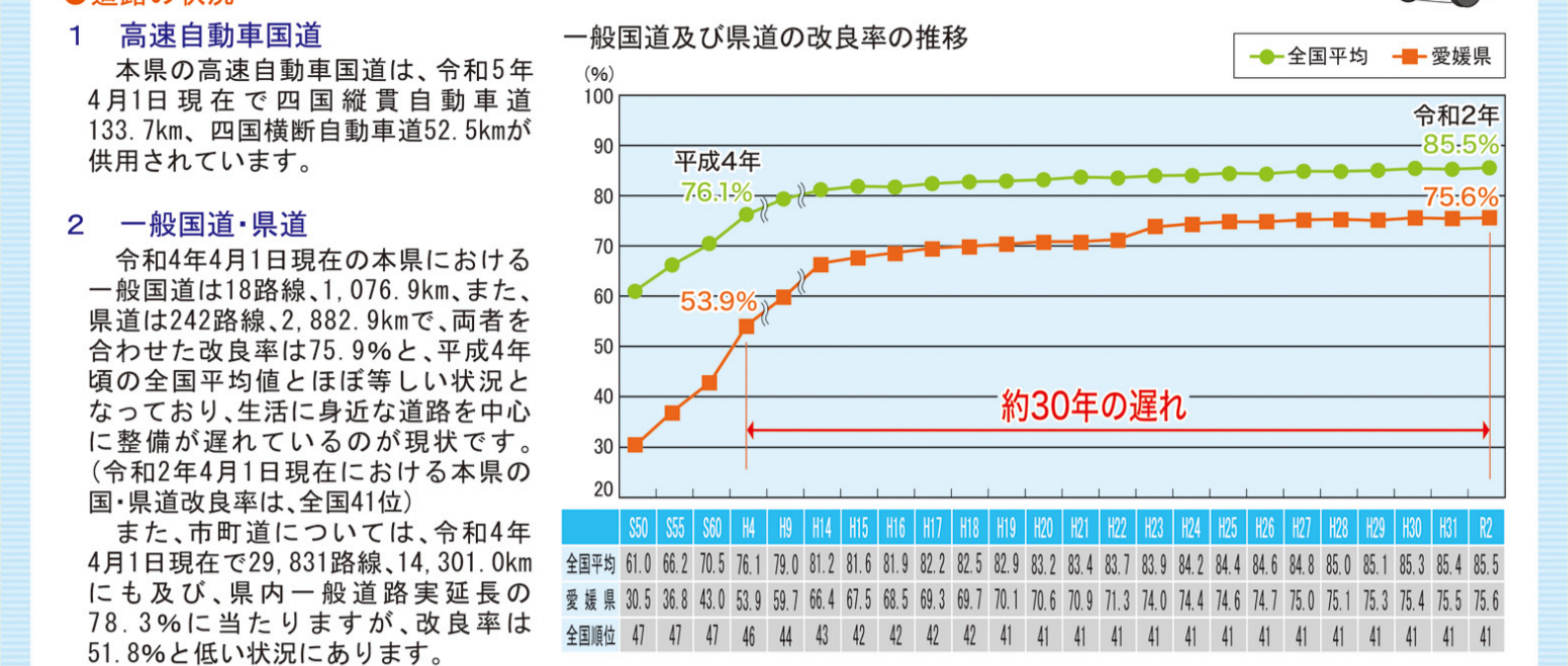


南海トラフ地震等の災害に備える道路の整備

南海トラフ地震等の大規模災害に備え、災害に対して安全で信頼性の高い道路網を確保するため、各地域の中心都市や防災上重要な施設(防災拠点)を相互に連絡する道路(緊急輸送道路)を優先して、様々な防災対策を総合的・重点的に進めています。
また、発災後、緊急輸送体制を早期に確保し、迅速な応急復旧を可能とするため、愛媛県では平成26年3月に「愛媛県道路密閉計画」を策定しました。



2 道路の状況



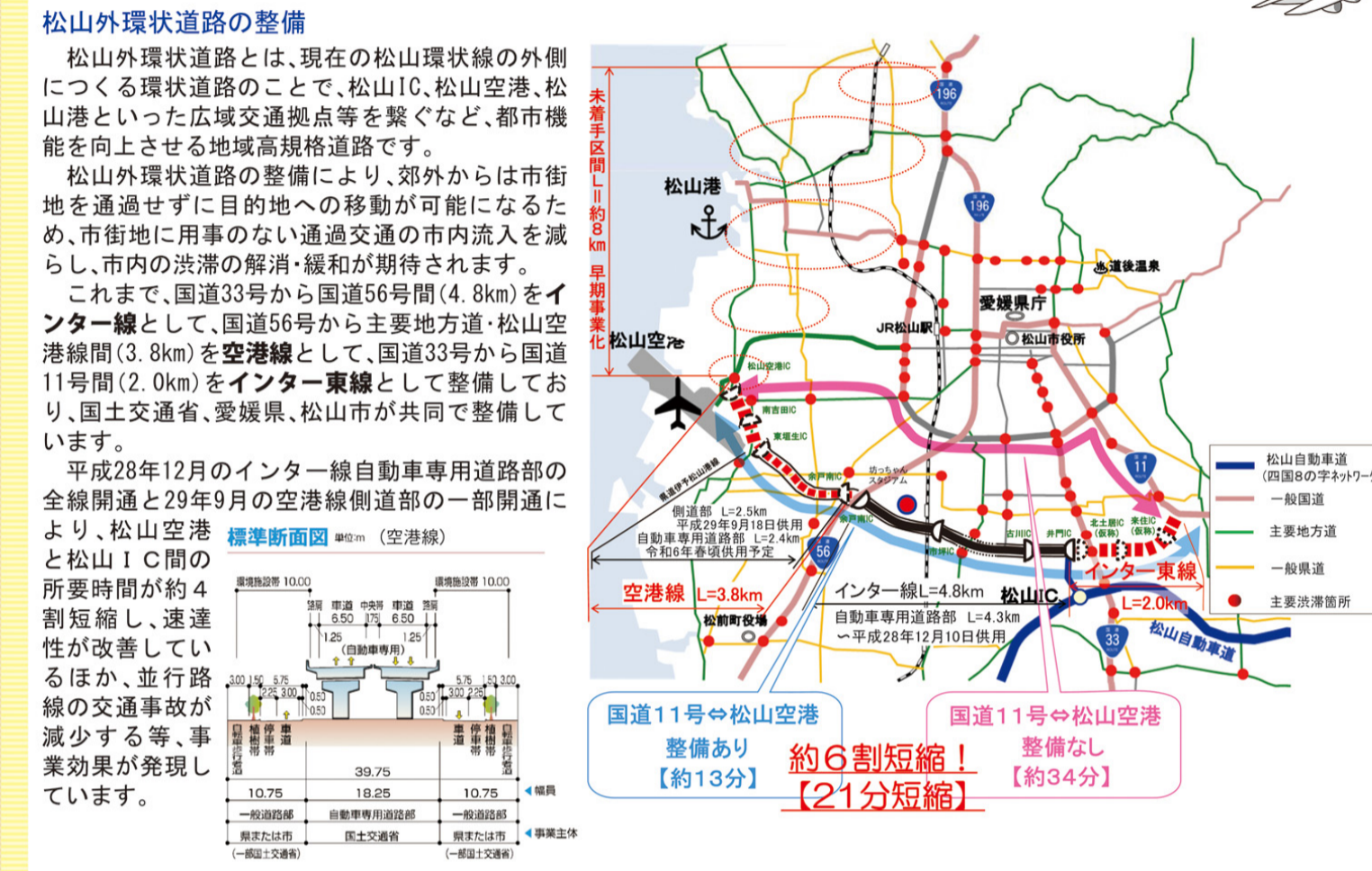
4 愛媛県の道路の整備方針



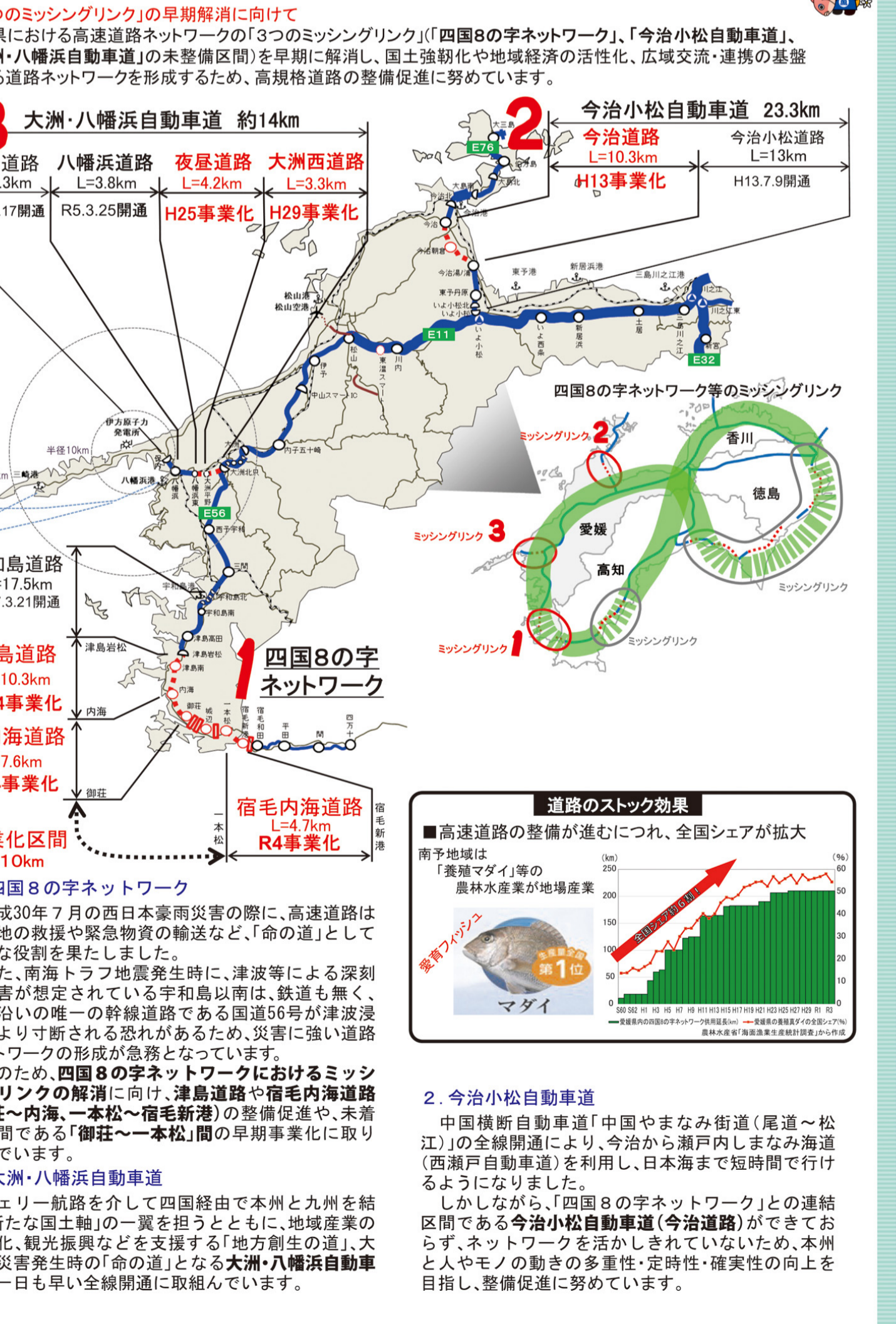
Topics 1 大洲・八幡浜自動車道「八幡浜道路」が開通しました!



Topics 2 松山外環状道路が開通しています!



愛媛の未来のための道づくり



愛媛の未来のための道づくり



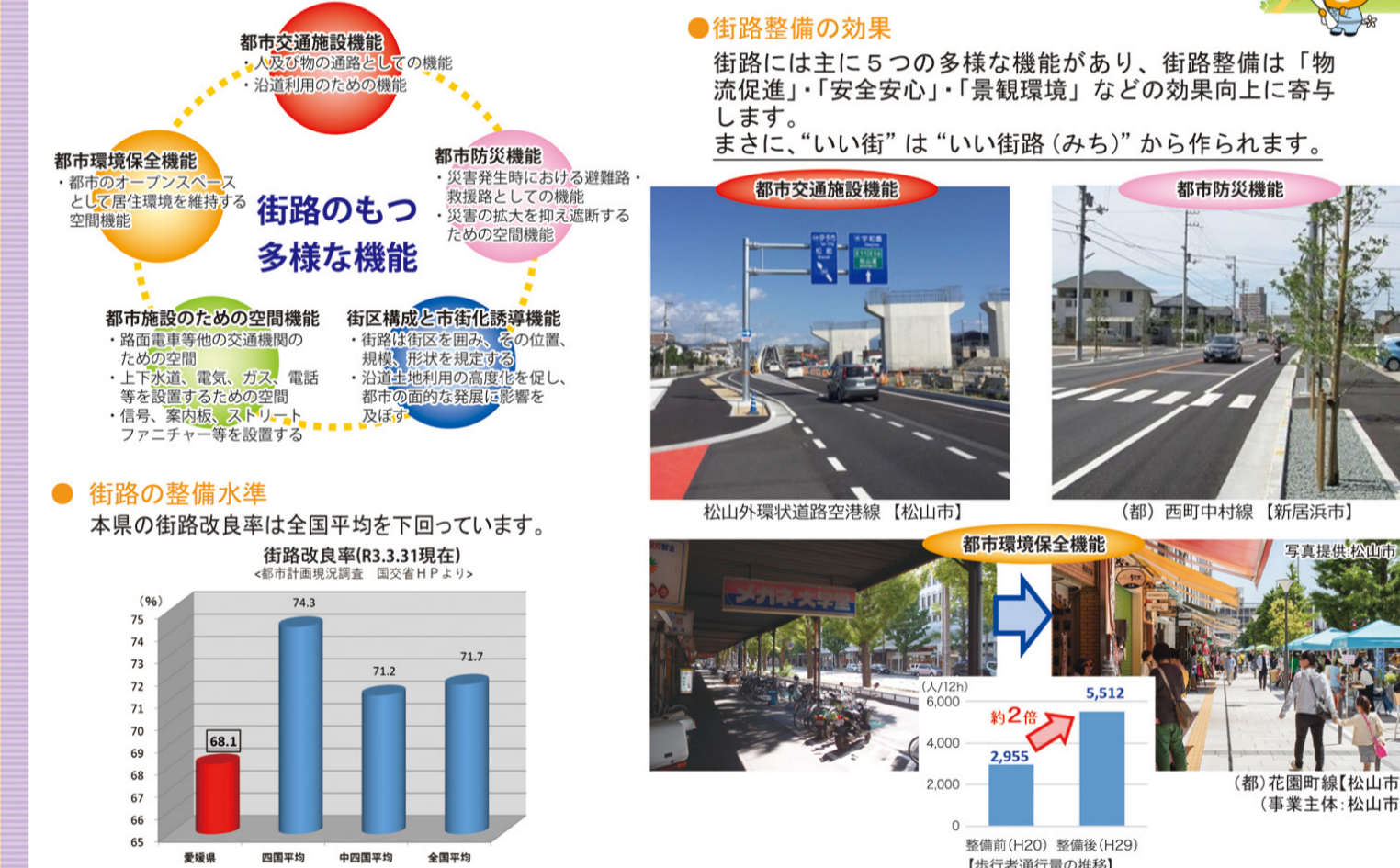
道路の適正な管理の推進



ひとにやさしく、みんなが安全に移動できるみちづくり



愛顔(えがお)あふれる街のみちづくり ~街路の整備~



自転車を活用した地域活性化

